令和7年度　第1学期終業式あいさつ

令和7年10月10日　清水洋太郎

みなさん、こんにちは。本日は令和7年度第1学期終業式です。今年の1学期はちょうど102日間でした。今年も夏休みも含めて、大きな事故にあったりすることなく、みなさんが安全・安心に、元気に楽しく生活できたことをうれしく思います。これも一人一人がしっかりと考え行動できたからだと考えています。ありがとうございました。

さて、今、5名の代表の児童のみなさんが1学期を振り返り発表してくれました。

それぞれの発表から、一人一人が考え、行動し、成長したことが伝わってきました。いつもお話ししてますが、自分を変えられるのは自分しかいません。未来の自分を変えるには、今の自分を変えていくことが大切です。

さて、今年の9月は、34年ぶりに東京で世界陸上が開かれました。みなさんは見ましたか？たくさんのアスリートが全力で挑戦し、すばらしい姿を見せてくれました。その中でも、私が一番心に残っている選手は、男子110メートル障害・村竹ラシッド選手です。村竹選手は、1年前のパリオリンピックで5位になり、この大会で本気でメダルを目指していました。しかし、わずか100分の6秒、0.06秒の差でメダルの逃しました。その後、大泣きしながら、こんな言葉を残しました。
「何が足りなかったんだろうなって。何が今まで間違っていたんだろうなって。パリ終わってからの1年間、本気でメダル取りに1年間、必死　に練習して。本当に何が足りなかったんだろうなって。自分の足がも　つ限り、何年かかってでもメダルを取りたい。」

みなさんは、この村竹選手の言葉を聞いてどう思いますか？世界の5位…0.06秒というわずかなタイム差…。みなさんは、どうですか？私は、本気になることの大変さとともに、すばらしさを感じました。もちろん、そう簡単にできることではありません。でも、みなさん一人一人に、何か本気になれるものを見つけて、本気でがんばってほしいと願っています。

明日から「秋休み」の3連休です。3日間、安全に健康に過ごしてください。特に、ヘルメットをかぶり、道路への飛び出しは絶対にしないようにしましょう。また、感染症が流行しています。予防にも気をつけましょう。3連休が終わると2学期が始まります。まずは運動会をがんばりましょう。そして、さらによりよい2学期にしていきましょう。これで、お話を終わりにします。